

一次産業の担い手確保・育成

農業

【新規就農者など多様な担い手・人材の確保】

- 大学生に宗谷地域及び酪農をPRする「宗谷酪農セミナー」の開催
- 大学生による農業体験の受入推進
- 都市部で開催される「新・農業人フェア」への出展
- 高校生に地域農業のPRや農業関連職業の紹介等を行う「宗谷農業出前授業」の開催
- 【若手農業者等の育成、地域コミュニティの機能強化による受入環境づくり】
- 経営・技術の向上と交流促進を目的とした研修会「SOYA☆ルーキーズカレッジ」の開催
- 管内女性農業者グループ「f f 宗谷」が行う研修や情報発信などの取組支援



新規就農へのPR冊子作成

林業

- 「学校訪問」や「林業体験」の推進
- 北海道立北の森専門学院への進学支援
- 北海道立北の森づくり専門学院と連携したインターンシップの受入
- 林業PR動画の関係機関への配布
- 林業PR動画（R2原画）を協議会構成員が独自にアレンジできるよう体制の構築



林業体験（R02.稚内北星学園大学）

水産業

- 宗谷の漁業PR冊子・PR動画の作成及び配信
 - ・ 臨場感ある漁業現場や水産物の魅力の発信
- 都市部で開催される「U・Iターンフェア」への出展
- 水産課HP（漁業の魅力発信コーナー）の充実
 - ・ 宗谷漁業の魅力をPRし、担い手育成に繋がる情報の発信
 - ・ SNS（振興局Twitter・水産局FB）と連携



宗谷の漁業と活躍する漁業者を紹介するPR冊子

この資料は、振興局主催の「てっぺん宗谷deしごと発見フェア2021」のしおりに掲載した「宗谷で働く先輩から」を転記したものです（下線は追記）。

No.1 札幌市内の短大へ進学し、札幌市内企業へ就職その後、稚内市へ戻ってきた20代女性（建設業：事務職）

私は稚内高校を卒業して、札幌市の短期大学へ進学しました。

というのも、高校3年生の時にやりたいことが特になく、一度地元を離れて、都会でやりたいことを見つけられたらと思ったからです。

就職活動時、親からは「稚内に戻ってきたら？」と言われ、稚内市の企業も視野に入れて市内の企業を受けたりもしましたが、自分の中では「都会でもう少し頑張ってみたい」という気持ちもあり、札幌をメインに就職活動を行いました。

短大卒業後は、札幌のアパレル系企業に就職しましたが、勤めていた札幌の支店が閉店してしまい、関東の支店に来ないかと企業からは声をかけてもらいましたが、正直、自分の生まれ育った北海道を離れるという選択肢はありませんでした。

札幌で他の仕事を探すことも考えてはみましたが、この機会に一度、地元に戻って自分を見つめ直してみようと思い、稚内の建設会社に転職して、今は総務事務や受付などの仕事をしています。

仕事の内容が変わったことももちろん大変でしたが、地元に戻ると、周りの人たちは会社に来るお客様もすれ違う人もみんな知り合いのようで、最初は「地元の輪」に入ることに苦戦しました。

私もそうでしたが、皆さんの中にも、地元を離れて広い世界を見てみたいという人がいると思います。それはとても良いことで、新しい土地で学んだこと、貴重な体験ができたと思うこともたくさんあります。でも、生まれ育った地元の居心地の良さや安心感はすごく温かいものです。

都会では、楽しいことも多いですが、つらい・不安と感じたときは、地元で楽しかったことを思い出してほしいと思います。地元では不便なことや不満などはあると思いますが、あとから思えば、その不便さは逆に居心地の良いものだったりします。

こういう話を聞くと、「そのうち地元に戻ってこなきゃならないのかな…」と感じてしまうかもしれませんが、「私にはいつでも戻ってこれる場所があるんだ」と考えることで、将来の就職の視野も広がるかなと思います。

地元を離れたとしても、ぜひ思い出して、就職先をはじめとした人生の選択肢を増やしてほしいです。

NO.2 稚内市から札幌市内の専門学校へ進学し、旭川市内の企業へ就職その後、稚内市に戻ってきた20代女性（宿泊業：フロント業務）

私は稚内大谷高校を卒業後、札幌の専門学校へ進学しました。もともと高校を卒業してすぐに地元で就職するつもりでしたが、高校の先生から「もし行けるなら札幌に出てみたら？」とアドバイスをもらい、個人的にも都会への憧れがあったので、進路を変更して観光系の専門学校に進学しました。

進学先で就職活動を行い、旭川市への就職が決まったので、1年間インターンシップとして就職予定の企業で働き、専門学校卒業後、そのまま旭川の会社で働いていました。

旭川では、知らない土地で同じ会社の同期以外、周りに友達や知り合いもおらず、心細い面もありました。旭川の会社を退職することになった時、札幌に戻って転職することも考えましたが、両親から「一度地元に戻ってきたら？」と言ってもらったことで、地元での転職を決めました。

今は宿泊会社のフロントとして、日々、お客様と接しています。地元では色々不便な面もありますし、都会への憧れを持っている高校生の皆さんも多いと思います。私自身の体験談ですが、一度都会に出ることは様々な経験にもつながります。経験することは良いことです。

自分の経験のために今のうちにしかできないことをして、損をすることはないと思います。

ただ、知らない土地で突然1人になると、心細いことや不安なこともあると思います。

そんな時、相談できる人、味方になってくれる人がいる地元があるということも思い出してほしいです。

NO.3 東京都内の大学へ進学後、稚内市に戻ってきた20代女性（金融業：窓口業務）

私は、稚内市出身で稚内高校を卒業しました。

一人暮らしも良い経験になるかなと思い、大学進学の際に稚内を離れて東京に行きましたが、その理由は、東京には親戚が多く、札幌よりも行く機会が多かったため、札幌への進学はあまり考えていませんでした。両親も「札幌に行くなら親戚が多い東京に行ったら？」と勧めてくれたことも理由の1つです。

同学年で札幌に進学する子は多かったですが、東京に進学する子はとても少なく、同じ大学の子はいませんでした。暮らしたことの無い土地で、周りに友達もいなかったため、東京に出て3ヶ月くらいは「稚内に帰りたい…」と思うことが多かったです。進学したときは「就職は絶対に東京で！」と考えていましたが、就職活動が近づくにつれて、親元を離れて仕事をして何かあったときに厳しいなと思い、北海道には戻ろうと決めました。

月に1回、東京から札幌の合同企業説明会に参加して就職活動を行ってる頃、北海道に戻ることを両親に相談すると、「どうせなら札幌じゃなくて稚内にしたら？」と言ってもらったため、地元に戻ることにしました。

札幌で参加した合同企業説明会に、今勤めている地元の会社が出展していたため、面接を受け、無事就職することができました。今は窓口でお客様対応が仕事のほとんどです。

地元に戻ってからは、地元に残っていた同級生が多く、休日は高校生の頃のようによく会っています。高校生活+仕事のような感覚です。若者向けのお店や、夜まで開いているお店が少ないので、都会が恋しくなることもあります。何よりも人が親切で自然も多くて過ごしやすいです。他にも都会で就職していたら、テレビでよく見る通勤ラッシュに巻き込まれると思うと、地元はストレスが少ないなと思います。

ずっと地元にいると、親元を離れるのは結婚などのタイミングしかないかと思うので、一度、若いうちに独り立ちしてみても良いと思います。

細かいものと光熱水費の契約なども含めて、親に任せきりだったことを若いうちに経験すると将来の自分のためにもつながります。

独り立ちして学んだことを温かい人たちがいる地元で活かしてくれれば嬉しいなと思います。

NO.4 札幌市内の大学へ進学後、稚内市に戻ってきた20代男性（金融業：窓口業務（現在は市外の町村で勤務））

私は稚内大谷高校の野球部に所属していました。その頃は、全道大会に出場した経験や、監督と同じ大学を志望していたことなど、色々な条件が揃い、野球の枠で札幌市の大学へ進学しました。

周りの友達も多く札幌に進学しましたが、初めて親元を離れたこともあり、進学後はかなり心細く、ホームシックに近かったかもしれません。

就職活動を行った時は、野球の道に進もうとは特に思わず、就職先についても札幌に残るのか地元に戻るのか、何も考えていませんでした。その頃はやりたいことがなく、札幌ドームで行われる合同企業説明会等に参加してはみたものの、ピンとくる企業はなかったため、他の合同企業説明会にも参加しました。大学の合同企業説明会に参加した時、地元の企業が出展していたので、私自身、地元の企業を知らなかったこともあり、せっかくなので話を聞きました。

その企業の面接試験を受け、無事内定をいただいたので地元に戻る決心をし、内定後は、その企業から「話す練習をしておくといい」とアドバイスを受けたので、他の企業の面接を受けるなどで自分の話術を磨く練習をしました。

今はその経験を活かし、窓口業務などお客様と関わる仕事をメインに働いています。地元に戻ってきて、若者が遊べる場所はちょっと少ないかなと感じることはありますが、慣れ親しんだ場所の安心感や、親が近くにいることはとても心強く思います。

皆さんの中で、少しでも「地元とは違う世界を見てみたい」と迷っている方がいるなら、実行した方がいいです。

親や地元の方々への恩返しなら、働いてからでも遅くないので、今やりたいことは今やってみてください。

私も高校時代に野球部を経験して、地元の方々からの応援や差し入れなどいただき、地元の1番の魅力である「人の温かさ」は身にしみて感じるので、その地域の方々にも、地元に戻ってきて働いていることが恩返しになればいいなと思っています。

NO.5 埼玉県から稚内市へ引っ越した20代男性（公務：地方公務員）

私の出身は埼玉県です。（某映画で散々な言われ方をしているあの県です）

そんな埼玉出身の私にとって、雄大な景色が広がり食べ物も美味しい北海道は憧れの地で、大学進学を機に北海道へ引っ越しました。北海道では札幌に7年住み、2年前に転勤で稚内に引っ越して来ました。

宗谷で働いて良かったと思う理由はいろいろありますが、主に次の3点です。

まずは、美味しい食べ物が多いこと。時期によって変わるいろいろな魚を安く食べることができ、乳製品も美味しい宗谷をととても気に入っています。（野菜が獲れないのはちょっと残念ですが）

また、自然が豊かなところも好きです。埼玉ではあり得ない地平線まで続くまっすぐな道や、都会ではお金を払って動物園に行かないと見られないオジロワシやアザラシ、都会ではお金を払っても見られない高山植物群や空いっぱいの天の川。こうした光景が普通に見られ、何か得した気分になります。（でも、シカの飛び出しはやめてほしいですね）

他に外せないのが、家と職場が近いこと。地元の友達で、毎日東京へ満員電車で1時間半かけて通勤している友人もいますが、今の私の通勤時間はたった5分。単純に計算して、東京で働くよりも、毎日3時間も自由時間が増えるわけです。これってとても魅力的ではないですか？（ちなみに、年間260日働いたとして、その差はなんと780時間ですよ！）

ところで、たまに「都会である札幌から引っ越して不便じゃないか？」と聞かれることがあります。確かに、宗谷にはお店も少ないですし、札幌と比べて便利だとは思いません。ただ、必要なものはネットでも手に入りますし、実際札幌に住んでいると、そこまで頻繁に買い物に出たりもしませんでした。結局、住みやすい宗谷に住んで、たまに都会に遊びに行くくらいがちょうど良いのではないかと考えています。

もちろん、札幌や東京といった都会でしかできない仕事もあるかもしれません。職業を選ぶときに、仕事の内容はもちろん大切ですが、それ以外の「暮らし」という部分に着目してみると、宗谷で暮らし宗谷で働くという選択を考えてみるのも良いのではないのでしょうか。